

平成 21 年 5 月 12 日

各 位

会社名 日本製麻株式会社
代表者名 取締役社長 中本 広太郎
(コード番号 3306 東証第2部)
問合せ先 取締役経理部長 池田 明穂
(TEL. 078-332-8251)

平成 21 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 20 年 11 月 12 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年11月12日発表)	7,428	319	286	52	1.42
今回修正予想(B)	7,007	253	220	45	1.25
増減額(B-A)	△421	△66	△66	△7	—
増減率	△5.7	△20.7	△23.1	△13.5	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	7,503	291	210	69	1.90

2. 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年11月12日発表)	5,587	136	90	107	2.92
今回修正予想(B)	5,194	96	48	59	1.62
増減額(B-A)	△393	△40	△42	△48	—
増減率	△7.0	△29.4	△46.7	△44.9	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	5,452	86	28	15	0.41

3. 修正の理由

(1) 連結業績

第3四半期以降、米国発の世界的な金融危機の影響やそれに伴う円高進行を背景に急激な需要の減少及び大幅な生産調整は雇用調整を招き景気後退が深刻化する状況となりました。当社グループもその影響を受け業績は前回の予想数値を下回る見込みであり、個別業績予想の修正に伴い連結業績予想を修正いたします。

(2) 個別業績

売上高は、予想数値と比較し393百万円の減収となりました。主な要因は食品事業では穀物価格の高騰により販売価格を大幅に改定し増収となったものの、マット事業では自動車メーカーの生産調整により販売市場が急激に落ち込み、産業資材事業では品不足による輸入価格の上昇や資材価格値上げなどの影響を受け、ホテル・レストラン事業においても景気低迷の影響を受けた節約志向が目立ち厳しい経営環境となり、大幅な減収となりました。

これにより営業利益が減少し、経常利益、当期純利益も修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、本予想数値と異なる可能性があります。

以上